

戦略3：持続可能な上都賀地域の農業・農村の形成

(1) 対応方向

生産者の高齢化による産地縮小、農村の過疎化による地域コミュニティの崩壊等が懸念される中、上都賀地域の魅力ある農業・農村を次世代につないでいくため、新たな人材を農業に呼び込むための取組を促進するとともに、産地と連携した参入者向け就農研修制度の充実、円滑な就農定着に向けたサポート体制を強化し、次世代の産地を牽引する人材を確保・育成します。

また、地域活性化を図れる人材の育成、地域の観光・商工・林業などの多様な人材との連携、農村資源の発掘や磨き上げ、地域の特性を生かした特産作物の振興、交流人口や関係人口の拡大など、農村所得拡大に向けた基盤づくりに取り組みます。

(2) 主な指標

項目	現状(R1)	目標(R7)	備考
新規就農者数	126人/5年間	140人/5年間	農業振興事務所調べ 現状:H28～R2の累計数 目標:R3～7の累計数
農産物直売所や農村レストラン等の年間販売額	1,940百万円	1,970百万円	農業振興事務所調べ

※新規就農者 = 自営就農者 + 将来独立を目指す雇用就農者

※新規就農者目標 28人/年 = 認定農業者数 731戸(R2.3) / 世代交代年数 26年

※世代交代年数 26年(定年延長後の年齢 65歳 - 直近5年の自営就農者の平均年齢 39歳)

(3) 取組方策

(新たな人材を呼び込む取組)

1) 若者等への農業・農村の魅力発信

中学生や高校生への就農意欲の醸成を図るため、農業・農村の魅力発信をするとともに、地域内外の就農希望者に選ばれる上都賀地域となるよう、農業体験会や就農相談会、農村体験等を通して、地域農業・農村の実力や就農地としての優位性の情報発信に取り組みます。

2) 他産業で働く農家後継者等を呼び込む活動の展開

他産業で働く農家後継者へ稼げる農業・農村の情報を発信するとともに、関係機関・団体と連携し、農家後継者向け就農相談、先輩農業者との交流機会の提供を行います。

(次世代産地を牽引する人材育成)

3) 園芸産地と連携した就農研修制度の充実・強化

関係機関や団体と連携し、研修制度の認知度向上及び農業体験会から研修へ確実に誘導するための体制強化に取り組むとともに、研修中に先輩農業者との話し合う場やネットワークの構築を支援します。

また、いちご、にら以外の研修制度の整備についても検討します。

4) 円滑な就農定着に向けたサポート

就農希望者の円滑な就農定着を促進するため、関係機関、団体と連携し、空き農地やハウス等の情報提供及び中古ハウス等のリフォームを支援するとともに、就農計画作成を支援し、農業次世代人材投資事業等メリット措置の活用を促進します。

また、個別巡回による重点技術支援を行うとともに、関係機関、団体と連携したフォローアップ体制を充実・強化し、安定経営に向けた総合支援を行います。

(農村所得拡大に向けた基盤づくり)

5) 地域の特性を生かした作物振興と拠点施設を核とした地域活性化

中山間地域における湛水さといも栽培の普及や地産地消推進店等での利用拡大及びそばの振興を図ります。

また、コミュニティバス等を活用した貨客混載による農産物等の集荷・供給システムを構築します。さらに、6次産業化、地産地消の取組、鳥獣被害対策を支援します。

6) 地域活性化の人材確保、交流・関係人口拡大

観光資源と農村地域の誘客プログラムを結び付け、観光業組織と連携した交流人口や関係人口の拡大を図るとともに、アフターコロナを見据え、国内外からの誘客に向けた態勢整備を推進します。

また、農村に広がる田園空間や森林空間を生かした地域活性化、持続可能な都市農村交流を図ります。さらに、企業と連携した地域活性化を推進します。

(4) 推進体制と役割分担

